

JAXA 惑星物質試料受入れ設備における、はやぶさ帰還試料のキュレーション作業と、第1回国際公募研究

The Hayabusa return sample curation in JAXA and the first international announcement of opportunity of research

安部 正真^{1*}, 矢田 達¹, 石橋 之宏¹, 上相 真之¹, 唐牛 譲¹, 岡田 達明¹, 八亀 彰吾¹, 田中 智¹, 藤本 正樹¹, 向井 利典¹, 吉川 真¹, 藤村 彰夫¹

ABE, Masanao^{1*}, YADA, Toru¹, ISHIBASHI, Yukihiro¹, UESUGI, Masayuki¹, KAROUJI, Yuzuru¹, OKADA, Tatsuaki¹, YAKAME, Shogo¹, TANAKA, Satoshi¹, FUJIMOTO, Masaki¹, MUKAI, Toshifumi¹, YOSHIKAWA, Makoto¹, FUJIMURA, Akio¹

¹ 宇宙航空研究開発機構

¹Japan Aerospace Exploration Agency

JAXA 惑星物質試料受入れ設備において、2010年6月13日に小惑星探査機はやぶさが再突入カプセルを地球に帰還させてから今までに、200個以上の粒子が試料捕獲容器より回収された。一連の初期分析が2011年11月に終わり、12月にはMOUに基づくNASAへの試料配付が実施された。回収された粒子の情報は整理されて、国際公募研究のウェブサイトに掲載され、2012年1月21日に公表された。はやぶさ帰還試料についての研究を計画している研究者は自由に試料配付について応募できる。国際公募委員会による一連の評価により研究計画が承認された研究者に対して、2012年5月頃から最大100個程度の試料の配付を開始する予定である。

キーワード: はやぶさ, イトカワ, 小惑星, サンプルリターン, 惑星物質, キュレーション

Keywords: Hayabusa, Itokawa, asteroid, sample return, planetary material, curation